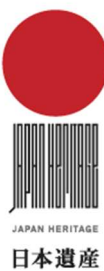


平成31年(2019年)4月17日
 教育委員会 文化財・生涯学習課 文化財係
 (課長)小林 司 (担当)小林 芳昭
 電話 026-235-7441 (直通)
 026-232-0111 (代表) 4427 (内線)
 FAX 026-235-7493
 E-mail bunsho@pref.nagano.lg.jp

平成31年(2019年)4月17日
 観光部 観光誘客課 観光誘客推進担当
 (課長)大槻 覚 (担当) 両澤 美樹子
 電話 026-235-7254 (直通)
 026-232-0111 (代表) 3539 (内線)
 FAX 026-235-7257
 E-mail kankoshin@pref.nagano.lg.jp

日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」を活用した地域活性化の取組について


1 「星降る中部高地の縄文世界 -数千年を遡る黒曜石鉱山と縄文人に会う旅-」 (平成30年5月認定) の概要



日本遺産
日本遺産ロゴマーク

ストーリー

日本の中心に位置する中部高地には
 縄文時代の黒曜石鉱山があります
 掘り出された黒曜石のカケラが輝く様から
 この辺りは星降る里と言いつたえられてきました
 また、ふもとのムラからは土器や土偶が出土しており
 縄文人の営みや芸術性を身近に感じることができます



星降る中部高地の縄文世界
ロゴマーク

※ 「日本遺産 (Japan Heritage)」は、地域の歴史的の魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として文化庁が認定する。
 ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としている。

2 推進体制

☆甲信縄文文化発信・活性化協議会 (設立: H30. 7. 25)

・会長: 長野県教育委員会事務局 教育次長

長野県 (教育委員会、県立歴史館、観光部、諏訪地域振興局)、茅野市、富士見町、原村、諏訪市、岡谷市、下諏訪町、長和町、川上村、山梨県、甲府市、北杜市、韮崎市、南アルプス市、笛吹市、甲州市、長野県観光機構 【17団体】

3 2020年度 (平成32年度) までの取組 (予定) について

| 区分 | 2018年度 (平成30年度) | 2019年度 (平成31年度) | 2020年度 (平成32年度) |
|-----------------|---|---------------------|-----------------|
| 情報発信・人材育成 | 縄文文化を紹介する広報用素材の作成 | 首都圏等での「縄文文化」発信イベント | |
| | Webサイト作成 多言語対応作成 | | |
| | 広報用動画の作成 | | |
| | ガイドブックの作成 縄文文化案内人 (ガイド等) 育成 (研修、講座等) | | |
| 親普及啓蒙事業・観光事業活性化 | 縄文遺産を学ぶ体験イベント (それぞれの地域、施設等で実施) | | |
| | 縄文フェスティバル | 「縄文カフェ」によるおもてなし交流事業 | |
| | 「縄文トレイル」モデルルート企画、作成委託 | | |
| | 縄文遺産を学ぶ学習旅行企画 (学習内容、ルート作成) | | |
| 研究調査 | 縄文時代を体験できるプログラム、商品の開発 | | |
| 活用 | 共通サイン、シンボルマーク検討 | wifi整備 | |
| | 日本遺産案内看板、掲示板等の作成設置 | | |
| 事業費 | 42,357千円 (うち補助金42,286千円) | 20,000千円 (予定) | (未定) |

4 2018年度（平成30年度）の取組

| | | |
|------------|-------------------------|--|
| 情報発信・人材育成 | 広報用素材 | ○広報用のポスター、リーフレットを作成し配布 |
| | Webサイト | ○日本語、英語、フランス語で作成し公開（H31.3.20） URL https://jomon.co/ |
| | 広報用動画 | ○BS-TBSで初放映（H30.12.9） ○県庁1階、銀座NAGANOで放映（H31.2.15～3.22） ○ダイジェスト版をホームページで発信中 |
| | ガイドブック | ○地元ガイド等が活用できるガイドブックを、日本語版、英語版で作成（9200部） |
| 普及啓発・観光事業化 | 体験イベント 「縄文を学ぼうin日本橋」 | ○日本橋プラザビル（東京都）で開催（H31.3.2） 【120名来場】 |
| | 縄文フェスティバル | ○茅野市民館で開催（H31.3.21） 【550名来場】 |
| | 「縄文トレイル」モデルルート | ○認定地域を巡るモデルルートの提案を受け、モニターツアーを実施（H31.3.7～8） 【36名参加】 |
| | 学習旅行 | ○長野～山梨の越県モデルツアーを実施（H31.2.23,24） 【25名参加】 |
| 研究調査 | 体験プログラム | ○縄文時代を体験できるプログラムを「縄文フェスティバル」で実演（H31.3.21） |
| 公開活用整備 | 統一ロゴマーク | ○認定地域がイメージできるシンボルマークを作成し、「縄文フェスティバル」で公開（H31.3.21） |
| | 案内看板、掲示板 | ○日本語、英語による入口案内看板、展示キャプション等を18施設に設置 |

学び応援キャラクター
「信州なび助」
©長野県教育委員会



長野県PRキャラクター
「アルクマ」
©長野県アルクマ

5 2019年度（平成31年度）の取組（予定）

(1) 国内外への発信

- ・Webサイトのコンテンツの充実
- ・県外での縄文文化発信イベント等の開催
- ・地場食材を活用した縄文に関連したメニューを開発
- ・遺跡、駅等にインバウンドに対応できる解説看板や案内版を設置

(2) 旅行商品等による誘客の拡大

- ・クラブツーリズム株が、5月発売の「旅の友」で「星降る中部高地の縄文世界」を特集。また、黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅（2日間）を催行予定
- ・縄文をイメージした地域の衣食住を体験できる周遊ルートの設定
- ・ガイドブックを活用し、地域の縄文文化を観光客等に解説できるガイドの育成